

第 41 回情報交流会の会 実施報告書（HP）

開催日時	2020年2月8日(土) 13:30-17:00
名称・主催	第41回 情報交流会の会・(公社)日本技術士会 神奈川県支部
開催場所	シルクセンター地下1階 大・中会議室 (横浜市中区)
行事内容	<ul style="list-style-type: none"> ・第41回情報交流会およびワンコイン交流会も開催した。 ・COVID-19には、アルコール消毒(スプレー・ウエットティッシュ)で対応した。 ・会員による3件のCPD講演、支部から活動状況・計画の報告があった。
参加人数	情報交流会:45名(正会員42名 講師3名含む、準会員3名) ワンコイン交流会:29名(正会員28名 講師3名含む、準会員1名)

概要

<第41回情報交流会の会>(司会:小原幹事)

・清水支部長挨拶:COVID-19が気掛かりである。危機対応は、はじめが肝心である。

・支部活動報告・活動予定のお知らせ

>松田総務委員長:COVID-19対策にアルコール消毒を準備した。感染防止に留意願いたい。

1/28に特別講演・賀詞交歓会を実施。3/6二次試験合格発表、4/4合格祝賀会開催を検討中。現支部は4委員会・10小委員会の組織構成である。支部事務局はシルクセンター内にある。支部機能の他、シェアデスクや専用トレイがあり、安価で貸出している。メリットを活かし利用願いたい。

>藤井技術士活性化委員長:技術士への業務受託と外部広報を行っている。県へのアドバイザー派遣や日本公庫から中小企業経営者向けSDGs研修会など依頼受託。テクノ 세미나やビジネスオーデイション表彰などで知名度向上を図っている。

>太田芳雄社会委員長:科学技術支援小委はサイエンスフェスティバル、サイエンスカフェなどの活動で社会貢献、技術士知名度向上の活動を行っている。防災小委は、土業連絡会と県の協定や横浜市のまちづくり支援制度などと連携して社会貢献を図っている。

・会員によるCPD講演

×(1) 関井 亮平氏 (経営工学部門) 富士通 「工場の設備保全を支援する技術」

保全は予防/事後保全がある。予防保全は時間基準保全と状態基準保全に、事後保全は緊急保全と計画事後保全に分類できる。予防保全ではIoTセンサなどによる状態監視や稼働時間などの保全周期管理が必要。いずれも保全データ管理により、設備総合効率を向上し設備・現象・原因を中心とした分析が可能になる。

×(2) 添田 将氏 (機械) アズビル 「産業用センサ製品に応用されるMEMSマイクロデバイス」

プラントでは検出/計測/操作/調整/監視制御を常時行っている。MEMSは半導体技術を利用した、機械要素を含むデバイス技術であり、体積比は従来の 10^{-6} 程度でセンサ等の微小化が可能。200径ウエハで加工し、ダイシング・実装工程を経て装置化される。ウエハ接合や深堀加工が独特。圧力、微小流量、湿度、角度等のセンサがある。サファイヤによる高性能圧力センサを開発した。

×(3) 田中 克己氏 (経営工学、情報工学) 富士通 「AIによる映像解析の取組み」

映像監視は河川や道路の災害や事故の発生を検知し安全安心に貢献している。従来は人手による映像監視であった。機械学習(AI)により映像解析し、異常検知・自動通報し高度な映像監視が可能になる。車の走行異常検知(停止/低速/渋滞/避走/逆走/速度超過/落下物)、降雪時、人物検知、不審行動検知などへの適用が期待できる。AI映像解析を活用して社会の安全に貢献したい。



関井亮平 会員



添田将 会員



田中克己 会員